



施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	生活水道課	
				課長	金子 喜一郎	
施策	11	水道の整備	関係課			

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	町民	安全な水道水の供給を安定して受けられる。		基本事業	1 安全な水道水の安定供給
			2 水道事業の健全運営	町民	適正な料金で水道水の供給を受けられる。
			3		
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・清浄な水道水の供給を図り、安心安全な水道への切り替えを促進します。 ・老朽化した施設の更新を計画的に進めるため、財政健全化計画やアセットマネジメントを含む水道ビジョン等を策定し、限られた財源で最大限の成果が得られるよう取り組みを推進します。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	水道普及率	%	実績値	96.6	96.7	96.7	96.7	99.7	99.8
目標値					96.7	96.7	96.8	96.8	96.9	96.9
B	水質に関する苦情件数	件	実績値	0	0	0	0	0	2	
			目標値		0	0	0	0	0	0
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方	<p>A) 数値が高まれば、結果として町民が安全な水道水の供給を安定して受けられていることに繋がるため成果指標とした。給水人口/給水区域内人口(給水人口は町営水道のみ)</p> <p>B) 件数が減れば、町民が安全な水道水の供給を安定して受けられているといえるため、成果指標とした。広範囲にわたる相当な被害で直接町に苦情を申し入れた件数。</p>
----------	---

目標値設定の考え方	<p>A) 水道普及率を96.9%まで向上させる。近年のライフスタイルの変化により、自家水(井戸水)などの水質が変動してきているため、地下水を利用している町民の方々に水の安全性を確認してもらい、自発的に町営水道へ移行していただく。</p> <p>B) 水質監視の強化や危機管理体制の充実を図ることにより、安心安全な水道供給に努め、苦情件数0件を目指します。</p>
-----------	--

施策のための目的・目標達成	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏水の発見などに対する通報を行う。 ・利用者として常に水道水の品質を監視する。 ・水道使用料を未納無く納入する。 	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定水量を確保し、安心安全な水道水の供給と共に水質を向上させる。 ・水道施設を整備(新規・更新)する。 ・効率的な運営を図り、可能な限り水道料金の値上げ抑制を図る。
---------------	--	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や節水意識により水道料金の徴収額は上がらないことが予想される。 ・施設の老朽化による突発的な水道事故の発生が懸念される。 ・すべてが上水道事業となったため、簡易水道の補助対象外となり、併せて簡易水道債・過疎債も対象とならないため、財源(特定)の確保が難しくなる。 ・安心安全な水道水の維持に欠かせない技術者不足が懸念される。 	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道料金の改定には慎重な意見が多い。 ・老朽化対策を計画的に進める必要がある。 ・突発的な断水周知が行き届かない事がある。
-----------	--	---

施策	11	水道の整備	主管課	名称	生活水道課
				課長	金子 喜一郎

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①上水道事業は当初認可より50年以上が経過し水道普及率は上げ止まりに近い状態である。 ②苦情に関しては水質に係る苦情は2件あり、前年より増加している
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①他団体の水道普及率は沼田市99.9%、片品村95.6%、昭和村98.97%、川場村97.1%であり水道事業は各自治体とも高止まりとなっている。 ②他事業者のデータがないため比較できないが、水道技術の進歩により他市町村とも高い水準を維持していると思われる。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①成果指標が高い水準にありこれを維持することが目標の達成につながる。 ②通報装置の故障による低水位が原因で濁りが発生1件→テレメーターを改修済 雷によるマグネットスイッチの不具合による低水位が原因で濁りが発生1件→交換済 いずれも機器類の故障が原因であり雷等の天候後の点検項目を再確認した。

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1	安全な水道水の安定供給	件	実績値 目標値	0 0	0 0	0 0
2	水道事業の健全運営	%	実績値 目標値	78.2 78.3	78.2 78.5	78.2 79.0	78.2 79.5	78.2 79.7	78.2 79.7	80.0
				3						
4			実績値 目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 安全な水道水の安定供給	①近年の気候動を受けた水源地（原水）の管理保全対策。 ②安定した水道水供給のための水源確保（公有地化を含む）。 ③水道施設（管路を含む）の老朽化対策。	①水源の維持管理を計画的に実施する。 ②施設の統廃合等による既存水源の利活用及び水源地の公有地化を推進する。 ③ストックマネジメント計画策定による計画的な老朽化対策の実施。
2 水道事業の健全運営	①水需要の減少や財務状況を踏まえ今後の経営方針を検討する。 ②資産管理を適正化し、中長期的な投資・財政計画を立案する。 ③上水道の接続・統廃合により経常経費を抑制する。	①事業の現状を踏まえ水道事業及び下水道事業運営審議会の開催を検討する。 ②資産管理台帳を整理しストックマネジメント計画を策定する。 ③上水道の統廃合計画を検討する。
3		
4		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000011		水道事業会計繰出事業(消防)				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	46,622,157 円			
施策体系	施策	11	水道の整備				一般会計からの繰出事務(基準内繰出分) ・建設改良等に伴う出資金繰出 ・起債償還等に係る補助金繰出 ・消火栓新設に係る工事負担金繰出 ・消火栓維持管理に係る負担金繰出		-		事業実績					
	基本事業	02	水道事業の健全運営								出資金・補助金受入業務					
組織名		生活水道 課		上下水道 係				② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	4	項	3	目	1	課題なし		-	70482	64677	千円